

SAKU らいぶ 61号



図書館だより

平成27年10月号

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

[内容]

- ・図書館へ行こう！
- ・これキテます！
- ・SAKUらセレクト
- ・季を愛でる
- ・らいぶ Question
- ・図書館閉館カレンダー

図書館へ行こう！

作新学院大学人間文化学部 特任教授 木村直人

「教育に新聞を Newspaper in Education」(NIE)が日本で提唱されて、今年で30年、全国大会20回の節目に当たるが、新聞の教材化はそれ以前から行われていた。

約40年前、新米の高校教員であった私は、興味関心をもった新聞記事を切り抜いて感想または意見を付す、という課題を出した。ところが、うちでは新聞を取っていません、と申し出る生徒がいた。そこで、その生徒には図書館で読むようにと指示した。取っていない理由は様々であったが、最近では、新聞(ニュース)はネットで読むという、新たな理由が加わったようだ。新聞紙というくらいだから紙であるのが当たり前であったが、今や辞書も書籍もデータ化されている。それ故に、分厚く重い辞書を何冊も持ち歩いたり、図書館や古書店に出向いて探し出したりしなくても、電子辞書・書籍やネットから必要な情報を手に入れられるようになった。現に、学内の同僚教員の論文を本人からではなく、ネットで手に入れたことがある。

しかし、これらのことからただちに、紙の辞書・書籍・新聞そして、それを所蔵する図書館がいらなくなるということを意味するものではない。ネットから得られた情報の出典や正しさを確認したり、ネット上にはない情報を検索したり(本来、「検索」とはそういうことだった)するにはやはり図書館である。時には、進化した図書館を訪れ、パソコンやスマホではなく、直接本を手にしてみてはいかがでしょうか。



噂にフォーカス!!

これキテます!



『久米書店 ヨクわかる! 話題の一冊』

BS 日テレ 毎週日曜 18:00~18:45 放送

本を紹介するテレビ番組は数あれど、今観るならこれ、「久米書店」です。

日曜日夕方6時、「ちびまる子ちゃん」の堂々向こうを張って放送。番組は、話題の本の著者を書店に招き、話を聴くスタイルをとっています。コンセプトは「観るだけでじっくり読んだ気にさせる」です。

何が面白いかというと、やけに機嫌のいい店主の久米宏と美人店員壇蜜の組み合わせです。

自らを「リサーチの久米」と呼ぶ久米さんの、下調べの緻密さや質問の妙味には、人をぐいぐい惹きつける力があります。対照的に壇蜜さんのしとやかな美しさと言ったら。綺麗な人は書く字も綺麗だなあなどとつまらないことに感心したりして。

著者自身が朗読する場面がありますが、概していえることは、著述が過激な人でも実際の人物は穏やかなことが多い。押しつけがましくないソフトなアピールに、読んでみたくくなります。

BS 番組ならではの自由さも見られ、「なぜ書店にシマウマ?なぜフクロウ?」とツッコみたくなるセットも素敵。BGM もオシャレです。

本当に観るだけでじっくり読んだ気になるのか、それはあなたの目で確かめてください。

巻で噂になっている本やアートにまつわる
コンテンツを紹介します。今回はテレビ番組を。
壇蜜の地味めの衣装にぐつとききます。



SAKUらセレクト

～本学図書館にある珠玉の1冊を紹介します～



火花

又吉直樹 著 913.6/Ma

本学図書館にも「火花」が入りました。ご存じ又吉直樹著、第153回芥川賞受賞作品です。

単行本は累計209万部以上を売り上げ、出版界の救世主とも純文学の起爆剤とも言われています。

物語は、売れない若手芸人の「僕」と、お笑いの天才でありながらこちらでも売れない先輩芸人神谷の交流を描いたもの。僕と神谷の丁々発止のやり取りはまさに火花散る迫力。著者の才気があふれるところです。タイトルを“花火”と勘違いしている人はこの部分を読むと間違えませんよ。

決してハッピーエンドではなく苦いものが残りますが、迷いながら進む若者たちの姿に胸を打たれるでしょう。

著者は受賞後に「僕の小説を読んで合わなくても(面白いと思わなくても)他の小説で合う人もいると思うので本を嫌いにならないでほしい」と話しています。

まずは「火花」、読んでみませんか。

季を愛でる

図書課長 野中千秋

台風過

台風18号等の影響により栃木県では、数十年に一度と言われる大雨に見舞われ、川の氾濫や土砂崩れ、浸水などの被害を受けました。近隣の県や東北地方にも被害は及び、台風は大きな爪痕を残しました。

台風や大雨に限らず、地震、火山噴火、竜巻など数年前には考えられなかったような地球規模の変化が起こっています。自然に対する畏怖の念を抱かずにはいられないこの頃です。

むきだしの地球あかあか台風過

千秋



らいぶ Question

模倣される日本 浜野保樹 著 より

361.5/Ha

「まなぶ」と「まね」は同じ語源から来ており、真似ることは批判される行為ではなく、何かを学ぶためには模倣から(①)なければならないと考えられていた。

“模倣”といった言葉どおり、いいものは真似なければ(②)し、「形から入る」という芸能の伝統も、模倣の価値を(③)的に認めてきた証左といっていだらう。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。



らいぶ MEMO

SAKU らセレクトで紹介した又吉直樹氏は、お笑いコンビ『ピース』のボケ役としても有名ですが、実は2009年の作新祭に来て芸を披露してくれました。その頃はまだ長髪ではなく、短かくしていたようです。

機会があったらまた来学して、お笑いのほかに芥川賞受賞についての講演もしてくれるといいですね。

図書館開館カレンダー 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



9:00~18:00



9:00~13:30



休館日

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

Tel 028-670-3651・3652

Fax 028-670-3619

E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)

URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

